

2026年4月7日
富士ソフト株式会社

富士ソフト、自社の発注管理 17 万件業務の DX 基盤に国産 ERP「HUE」を採用 -Fit to Standard で大規模刷新

富士ソフト株式会社（代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：室岡 光浩）は、株式会社ワークスアプリケーションズ（代表取締役 CEO：秦 修）の ERP 製品「HUE Classic Project Management（HUE）」を採用し、発注管理システムを刷新しました。標準機能を中心とした Fit to Standard の実装により、業務プロセス全体のシングルインプット化と統合管理を実現。業務効率化と安定的な取引環境の提供につなげます。

発注管理システムの老朽化を国産 ERP で解消

近年、企業を取り巻く事業環境は急速に変化しています。2025 年には、電子帳簿保存法や、サイバーセキュリティ基本法が改正。多くの企業が、従来の業務フローやビジネスモデルを抜本的に変革して、より効率的で柔軟な体制を構築する、サプライチェーン DX を最重要課題として位置付け、調達・購買プロセスのデジタル化、可視化を進めています。

年間約 17 万件の処理が効率化、約 6 万時間の工数を削減

富士ソフトは自社の発注管理システムを HUE に刷新。従来は手作業や二重入力が多発、ミス防止のためのダブルチェックが必須で作業負荷が増大しており、また、業務データ管理面にも課題がありました。本システム刷新により、従来抱えていた課題が解決され、年間約 17 万件の受発注業務が効率化、約 6 万時間の工数が削減される見込みです。

発注管理刷新を起点に、全社 DX を加速

今後は、今回実装した API 連携機能を活用し、他社内システムとの連携を強化、さらなるシングルインプット化と業務効率化を推進します。さらに販売管理領域などへの導入拡大も検討し、AI 機能の活用も進めます。自社導入で得られた知見を標準化し、「HUE 導入支援サービス」として提供予定。また、ワークスアプリケーションズと共同セミナーの開催も予定しています。

Fit to Standard のメリット

・長期的な保守コスト最適化

Fit to Standard による標準化された基盤は、法改正やアップデート対応を容易にし、長期的な保守コストを大幅に抑制できます。DX 成功企業ほど標準化された基盤を整備し、データ連携や効率化を実現していることが調査でも示されています。

・内製率向上・運用負荷軽減

日本企業の IT 部門では人材不足が深刻で、内製化や基盤のシンプル化による運用負荷軽減が重要課題です。標準機能中心であれば、システムの理解が進み、改善を社内で回しやすくなります。

・ルール統一によるグループ標準化

標準プロセスへの合わせ込みにより、部門・グループでばらついていたルールや手続きを統一。ガバナンス強化にも寄与し

ます。

株式会社ワークスアプリケーションズ

<https://www.worksap.co.jp/about/company/>

ワークスアプリケーションズは、1996年に日本発のERPパッケージベンダーとして創業。ノーカスタマイズや無償バージョンアップなど革新的なソリューションで、国内大手企業を中心にお客様の成長を支援してきました。個が持つ可能性を信じ、企業と個の価値を最大化する「成長エンジン」となることを目指し、「作業」を「創造」に変え、「仕事」を楽しくすることを追求していきます。



関連情報

富士ソフトとWAP、戦略的パートナーとして協業を開始

https://www.fsi.co.jp/company/news/20260401_2.html

お問い合わせ先

ニュースリリースについて

コーポレートコミュニケーション室 広報窓口

TEL : 050-3000-2735

E-MAIL : mkoho@fsi.co.jp

製品・サービスについて

ソリューションビジネスユニット システムインテグレーション事業本部 インフォメーションビジネス事業部 営業部

TEL : 050-3000-2733

E-MAIL : info-mission-critical-system@fsi.co.jp

※ 記載している会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。